OUR SPORTS 東京
新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒170-0013 豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401
TEL: 03-3981-1345　FAX: 03-3981-8315
E-mail　njsf@tokyo.email.ne.jp
URL　http://www.t-njsf.net/tokyo/

6 月号
2015 年 5 月 27 日
発行責任者：萩原 純一

清々しい陽気のなか、東京都連盟では旺盛に競技大会が開催されております。今号では、荒川区連盟主催で行われたフットサル大会と、回を重ねるごとに参加者が増え続けている東京春季スポーツフェステバル剣道大会の様子をお届けします。

一般の部 優勝「FC TRY」 シニアの部 優勝「尾久六シニア」

5月10日（日）に北区滝野川体育館で第3回城北フットサル大会が開催されました。一般2チーム、シニア（少年、女子混成チーム含む）3チームで試合を行いました。一般の部は、前半15分（休憩5分）後半15分の試合を4回実施。学生対社会人チームの対戦となりましたが、優勝は社会人チームのFC TRYとなりました。シニアの部は、結果的にシニア+少年+女性の混成チームとなりました。小学生から60代のメンバーが参加しました。小学生、女性だからとあまくみていると大変です。常にサッカー、フットサルを練習しているので、一瞬も気が抜けないゲームとなりました。シニアの部の優勝は尾久六シニアでした。（荒川区連盟 及川久男）

岐阜県はじめ他県からも多数参加!! 剣道愛好家 150名以上が集まる!!

5月24日（日）、東京武道館第二武道場に於いて、第12回東京春季スポーツフェステバル剣道大会が開催されました。昨年から参加者が徐々に増え始めた為、今大会は夜間も使えるよう会場を確保。前年以上の方が参加できるよう準備を進めましたが、締切りを待たずに定員がオーバーし、とても盛況な大会となりました。首都圏以外からの参加団体も多く、岐阜県からは、朝の3時頃出発したという加茂高校の皆さんはじめ、長野県や静岡県からも参加があり、多くの剣道愛好家が試合を通じて交流を深める場となりました。今大会も個人戦、団体戦ともに 3～4人（団体）のリーグ戦を行った後にトーナメント戦を行い、選手の皆さんからは試合が沢山出来て楽しかったとの声も聞かれました。また、このようなオープン大会は少ないとのことで、気軽に誰でも参加できることが、参加者増の要因の1つとも考えられ、今後も剣道愛好家の皆さんの要求に応えられるよう活動を続けていきたいと思います。（宮内泰明）

第12回東京春季スポーツフェステバル剣道大会 試合結果

個人戦

部門	優勝	準優勝	三位	三位
一般男子二段以上の部	西亮弥（桐蔭横浜大）	平井忠良（聖武会）	岩田佑介（武真会）	堀口開斗（大正大学）
一般男子初段以下の部	石井大樹（桐蔭横浜大）	今井歩（桐蔭横浜大）	玉木雄介	

部門	優勝	準優勝	三位	三位
高校男子二段以上の部	佐光拓哉（加茂高校）	岸慈大（加茂高校）	林亮介（加茂高校）	吉田航洋（獨協埼玉高校）
高校男子初段以下の部	桂川優理（加茂高校）	新田悠真（加茂高校）	石川玲央（加茂高校）	

部門	優勝	準優勝	三位	三位
女子二段以上の部	鳥澤美鈴（加茂高校）	江副優生（桐蔭横浜大）	露木佳奈（桐蔭横浜大）	菊川あゆみ（桐蔭横浜大）
女子初段以下の部	中村向日葵（越谷総合技術高校）	田口真梨（加茂高校）	節政実樹（足立西高校）	

団体戦

部門	優勝	準優勝	三位	三位
高校男子の部	加茂高校C	加茂高校A	獨協埼玉高校	加茂高校D
	新田・石川・林	佐光・池戸・岸・林	長沼・寺内・吉田	今井・桂川・田中
女子の部	桐蔭横浜大学A	加茂高校	松伏高校	
	江副・露木・菊川・熊田	鳥澤・田口・太田	原・友平	
一般男子の部	残心B	侍剱士館B	桐蔭横浜大学A	西部有志会B
	大野・宮原・室橋	坪倉・中村	小俣・福島・西	西野・村上・垰田

団体戦 一般男子の部　優勝の残心Ｂの皆さん

FSGT８０周年記念アッシーズに参加して

５月13日～18日までフランスに行ってきました。14日～17日にマルセイユでFSGT第 6 回アッシーズ（国際会議）に招待されたからです。この会議はフランスのほか、初参加の韓国とギリシャ、そしてパレスチナ、イタリア、カメルーン、チュニジア、アルジェリア、モルジブ、ベルギー、イスラエル、ブルガリア、スロベニア、サハラ、メキシコ、スイス、コンゴ、デンマーク、日本の国々（56 人）が参加しました。FSGTの地域組織 72 の参加は 301 人で、その他専門家、マスコミ、政治家 59 人で総勢 416 人の規模でした。

メインテーマ［幸福な日々をおくるのにスポーツはなにができるのか?］は、とても哲学的な課題でした。大きなテーマは政治・経済・変革でそれにあわせて分科会がありました。フランスのマルセイユまで来て、会議で終わるのはもったいないと思いましたが、まじめな日本人根性で全部参加しました。びっくりしたのは講師がそれぞれ専門家で、熱い議論がされていることです。とくに日本では政治的な発言は少ないのですが、フランスでは政治ぬきにスポーツは語れない雰囲気でした。2020 年オリンピック・パラリンピックのオリパラ都民の会の活動（青沼さん報告）には質問がたくさんありました。もう一つ印象的だったのはFSGTの若返りです。国際部長のマリオンは 30 代のチャーミングな女性で、セーヌサンドニ委員会の代表は 30 歳のイケメンでした。（2015 年反核平和マラソン広島～長崎を走ります）スポーツ連盟も若返りをと強く思いました。

FSGTの存在そのものが変革であり、スポーツをお金持ちのものから労働者のものにしたという言葉は印象に残りました。日本でもスポーツ連盟の存在価値を問われていますね?

日々の大会運営に追われていますが、政治・経済・改革に真摯に取り組んでいくことを教わりました。心残りだったのは、マルセイユまで行ってブイアベースを食べなかったことです。（東京都連盟　小林章子）

沿道からも沢山の声援　～国民平和大行進2日目～

5月7日（木）、平和行進2日目。スタートの芝公園には、通し行進の 4 名を先頭に、平日で少ないと勝手に思い参加したところ、川崎での最終報告では 200 名を超えたと報告された。通し行進の、山口悦郎さんは 83 才で、個人的に親しくしている先輩である。又、今年もフイリッピンから青年が参加して「平和を求めて共に頑張ろう」と訴えた。

途中では、マンションのベランダから手を振る人、店番の高齢者が立ち上がり手を振ってくれる、例年と少し違うなと感じた。川崎駅近くの陸橋上では、下校途中の高校生が、鈴なりになり手を振ってくれ、励まされた。例年、六郷橋の袂から川崎側の街角などで出迎えてくれる、トランペット奏者、松平晃さんも「体が続く限り頑張ります」と言っていました。無事川崎市役所前の広場で、神奈川スポ連の仲間に引き継ぎをしました。歩数計は 20kmを超えていました、今年は少し疲れた 80 才でした。（東京・ウォーキングクラブ三浦二郎）

障害者スポーツの発展をめざして ～第４回提言討論会～

あいさつをする横山聡共同代表

５月16日（土）に東池袋駅に直結している豊島区立舞台芸術交流センターあうるすぽっとにて、東京都連盟も構成団体となっている、2020 オリンピック・パラリンピックを考える都民の会が、障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会と共同開催で第４回目となる提言討論会を行いました。

障害者スポーツの発展をテーマに、塩家吹雪さん、高山浩久さん、市橋博さんの3名のパネリストがそれぞれの角度から発言しました。

塩家吹雪さん（陸上クラブＡＣ・ＫＩＴＡ、ＳＲＣ代表）

伴走者と指導者の人材不足

全盲ランナーが全力で走るためには伴走者のサポートが必要ですが、その伴走者が圧倒的に少ないという現状がある。また、障害者スポーツの知識が不十分な指導者も多く、特に地方での指導者不足が深刻な問題となっている。また、障害者の出場できる国内のオープン大会や公認大会が少なく、実戦経験が積めないという問題もある。

障害者と健常者という壁をつくる必要はない！

日常生活から障害者と健常者の壁を作りすぎてしまっていて健常者が入れない環境になっている。代表を務めるAC・KITAやSRCでは、障害者の選手が多数いるが、クラブに所属するメンバーは分け隔てることなくトレーニングをやっている。障害を持っている人も健常者と同じことが出来ている事で自信につながり、それぞれが自立にもつながっていると話しました。

高山浩久さん（東京都障害者スポーツ協会地域スポーツ振興課長）

スポーツ・フォア・オール　～障害のある人もない人も、だれもがスポーツに親しむ「スポーツ都市東京」を目指して～

区市町村など事業の実施主体に対して、ノウハウの提供、障害者スポーツ指導員の派遣、スポーツ用具の貸与を実施し、身近な地域でも障害者がスポーツできる環境を整える取組や、障害者スポーツセミナー、指導員養成講座の企画実施を行っている。

東京には障害者スポーツセンターが北区と国立市の2か所にあるが、圧倒的に障害者スポーツ施設が不足しているため、一般のスポーツ施設も障害者が利用しやすくなるよう環境整備が必要であると発言しました。また、2020 年に東京でパラリンピック開催が決定したこともあり、車いすスポーツをやりたいという区からの相談もあったが、パラリンピック以降もこうした障害者スポーツの取り組みが継続拡大していってほしいと述べました。

市橋博さん（障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会副会長）

誰にも優しいまちづくりを期待

障害者がスポーツを間近で観戦できる場所が限られている。野球場や競技場では車いすでも観戦できるように専用スペースが設けられていますが、野球場では内野に専用スペースがありますが、障害者も外野席で大応援団と一緒になって応援したり、サッカーではゴールのすぐ脇でシュートする場面を観たいという方もいますが、専用スペース以外には車いすが自由にどこでも観戦できる環境が整備されていないと訴え、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、まちづくりの考え方に大きな変化をあたえてくれることを期待していると述べました。

東京都連盟スポーツカレンダー　2015 年 7 月～2015 年 8 月

卓球

・第14回多摩スプリング団体戦
7/4（土）東久留米市スポーツセンター
・第31回ハローレディース団体戦
7/8（水）東京体育館メイン・サブ
・第11回のりのりシングルス大会
7/8（水）大森スポーツセンター
・全国大会予選男子一般団体戦
7/19（日）小豆沢体育館
・全国大会予選女子一般・年代別シングルス
7/20（月祝）日野市民の森ふれあいホール
・多摩ジュニア団体戦
7/29（水）柴崎体育館第1
・全国大会予選会女子一般年代別団体戦
8/1（土）戸田スポーツセンター
・全国大会予選会男子一般年代別シングルス
8/2（日）戸田スポーツセンター
・第 18 回関東オープン中高生大会
8/5（水）、6（木）東京武道館
・MIX団体戦
8/16（日）稲城市総合体育館
・多摩ペアマッチ大会
8/29（土）柴崎体育館第1

■北区

・第53回北区スポーツ祭典ダブルス大会
8/9（日）滝野川体育館

■杉並区

・杉並ジュニアシングルス大会
7/30（木）高円寺体育館

ランニング

・第 20 回東京反核平和マラソン
7/11（土）夢の島公園　杉並区役所　北区役所　大田区役所、宮下公園（予定）
・月例多摩川ロードレース
7/12（日）国立市泳河川敷グラウンド横
・月例赤羽マラソン
7/26 荒川河川敷

テニス

■練馬区

・第47回練馬スポーツ祭典テニス大会
7/25（土）26（日）8/2（日）土支田庭球場
・第 27回クラブ対抗団体戦
8/22（土）23（日）30（日）土支田庭球場

■北区

・北区選手権団体戦（男・女・ミックス）
8/16（木）桐ヶ丘体育館コート
・北区民体育祭　一般男子ダブルス
8/30（日）桐ヶ丘体育館コート

■中野区

・中野区連盟杯テニス大会
7/5（日）哲学堂庭球場

■板橋区

・第 52 回板橋スポーツ祭典
壮年女子ダブルス大会
7/4（土）加賀庭球場
ミックスダブルス団体戦
7/18（土）新河岸川庭球場
壮年男子ダブルス大会
8/8（土）新河岸川庭球場
女子ダブルス大会
8/22（土）新河岸川庭球場

バドミントン

・第 18 回夏季高校生オープン大会
7/28（火）、7/29（水）駒沢公園体育館

■練馬区

・第47回練馬スポーツ祭典バドミントン大会
8/23（日）30（日）光が丘体育館

■板橋区

・第 11 回東京シティーオープン
7/11（土）桐ヶ丘体育館

■荒川区

・第4回荒川祭典混合ダブルス大会
8/23（日）荒川総合スポーツセンター・小体

■新宿区

・第 35 回新宿団体リーグ戦
7/19(日)新宿スポーツセンター

バレーボール

■北区

・第53回北区スポーツ祭典
シニアミックス大会
予選 7/26（日）滝野川体育館
決勝 8/23（日）桐ヶ丘体育館
オープン大会男女別
予選 8/23（日）滝野川体育館

■板橋区

・第52回板橋スポーツ祭典
レディースバレーボールオープンリーグ
7/19(日)8/23（日）赤塚体育館
Mix バレーボールオープンリーグ
8/2（日）小豆沢体育館

水泳

・第43回東京海の教室
7/31（金）～8/2（日）館山市北条海岸

ウォーキング

・東京反核平和ウォーキング
7/19（日）拝島駅～フレンドシップパーク
・2k540&ちゃばら　アキオカへ行こう
8/1（土）JR 御徒町駅南口 9：45 集合
・140回例会　招福ご利益コース&総会
8/8（土）西武池袋線椎名町 9：45 集合

野球

■練馬区

・第47回練馬スポーツ祭典1DAY大会
8/30（日）北大泉野球場

■板橋区

・第52回板橋スポーツ祭典軟式野球大会
7/5（日）26（日）　8/23（日）30（日）
戸田野球場

サッカー

■北区

・第 53 回北区スポーツ祭典サッカー大会
8/2（日）荒川サッカー場
8/9（日）赤羽スポーツの森運動場
8/30（日）北運動場

～ 編集後記 ～

「エネルギー政策の転換」が問われる今、牛発電（？）が話題。フィン ランドでは牛の体温を使って発電をする研究がすすめられ、北海道では 牛のふんを利用するバイオマス発電が今年 7 月から開始されるらしい。電気が通っていないインドの農村に、牛が光をもたらす日が来るかも。（佐藤）